

腰壁とハンドレールの組み合わせのバルコニー手摺設定

文書管理番号：1018-01



Q. 質問

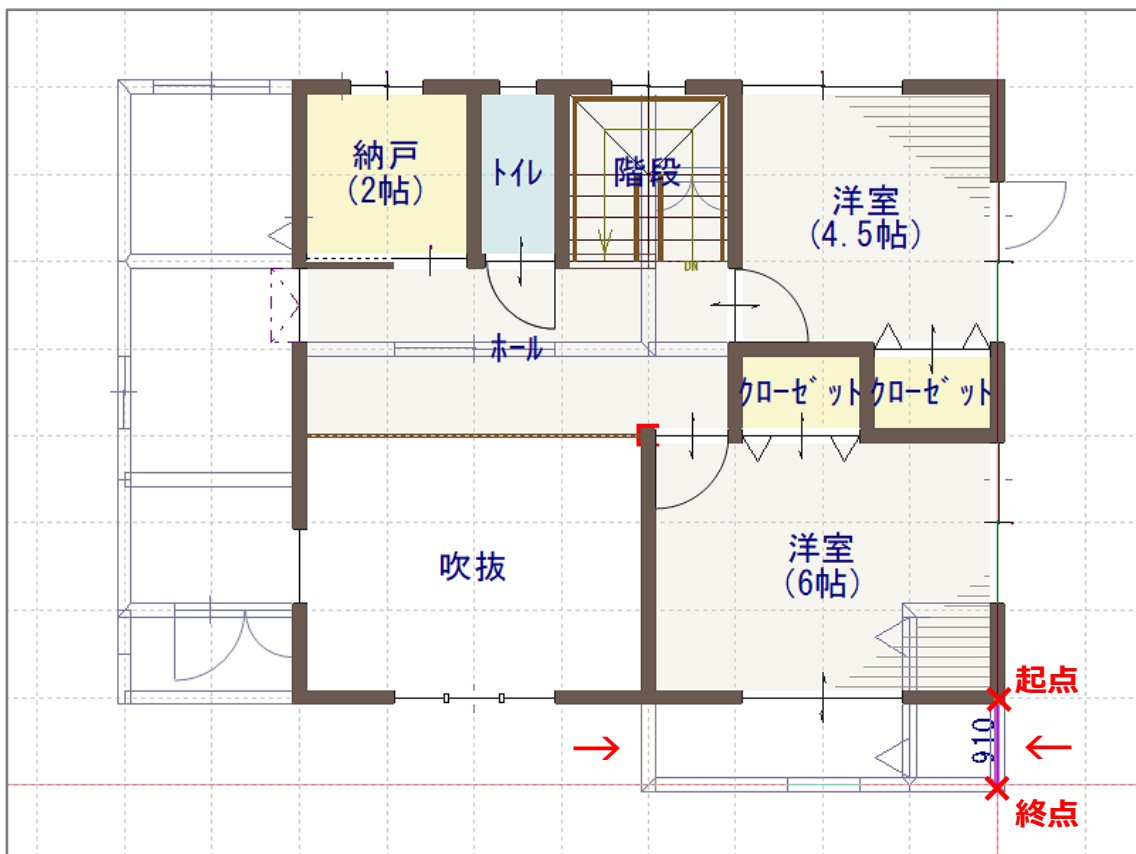
バルコニーの手摺を、側面は腰壁手摺で前面はハンドレールを付けたい。

A. 回答

ひと続きのバルコニーで、設定できる手摺の種類は1種類のみですので、腰壁手摺とハンドレールの組み合わせにしたい場合は、腰壁手摺の部分を外部腰壁で入力します。

操作手順

- ①  (壁)の  (外部腰壁)をクリック
- ② バルコニーの側面の部分に外部腰壁を配置



- ③ (付属品)の (バルコニー)をクリック

* バルコニー設定の画面が表示されます。

- ④ 手摺種類から「ハンドレール」を選択し、バルコニー設置高さ・スラブ厚・手摺高さを設定して、「OK」をクリック

バルコニー設定

バルコニー設置高さ: -100 mm

バルコニースラブ厚: 300 mm

手摺高さ: 1100 mm [詳細設定\(S\)...](#)

手摺種類: ハンドレール ④

支柱間隔: 910 mm

段付き

段数: 1

厚み: 100 mm

引込幅: 100 mm

手摺二重配置

注記

バルコニー

配置方法

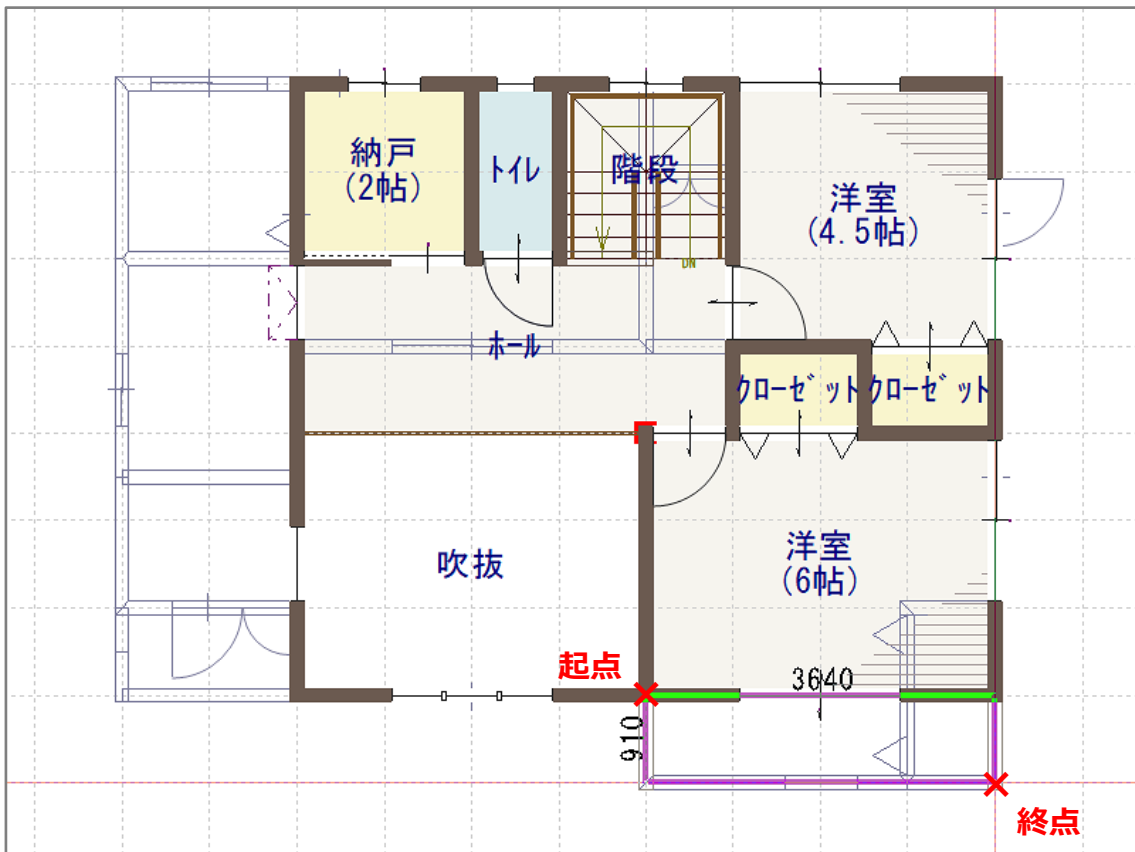
中央

任意


文字属性(M)...

OK キャンセル ヘルプ(H)

- ⑤ (矩形配置)を選択し、起点-終点でバルコニーの床の形状を作成



- * バルコニーが配置されます。
- * あらかじめ外部腰壁を配置しているところには、バルコニーの手摺は生成されません。

⑥  (3D パース)で確認



【注意】

バルコニーを配置後、後から外部腰壁を入力すると、バルコニーの手摺と外部腰壁が重なり、3Dパースでも重なって表示されます。

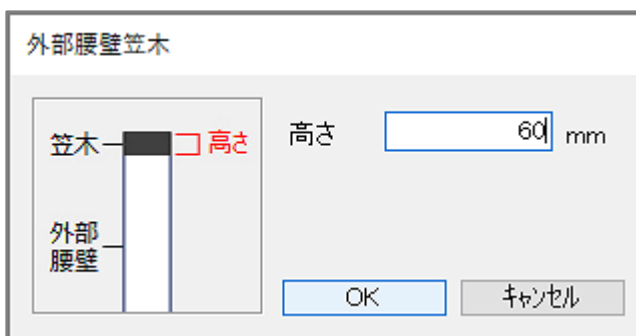
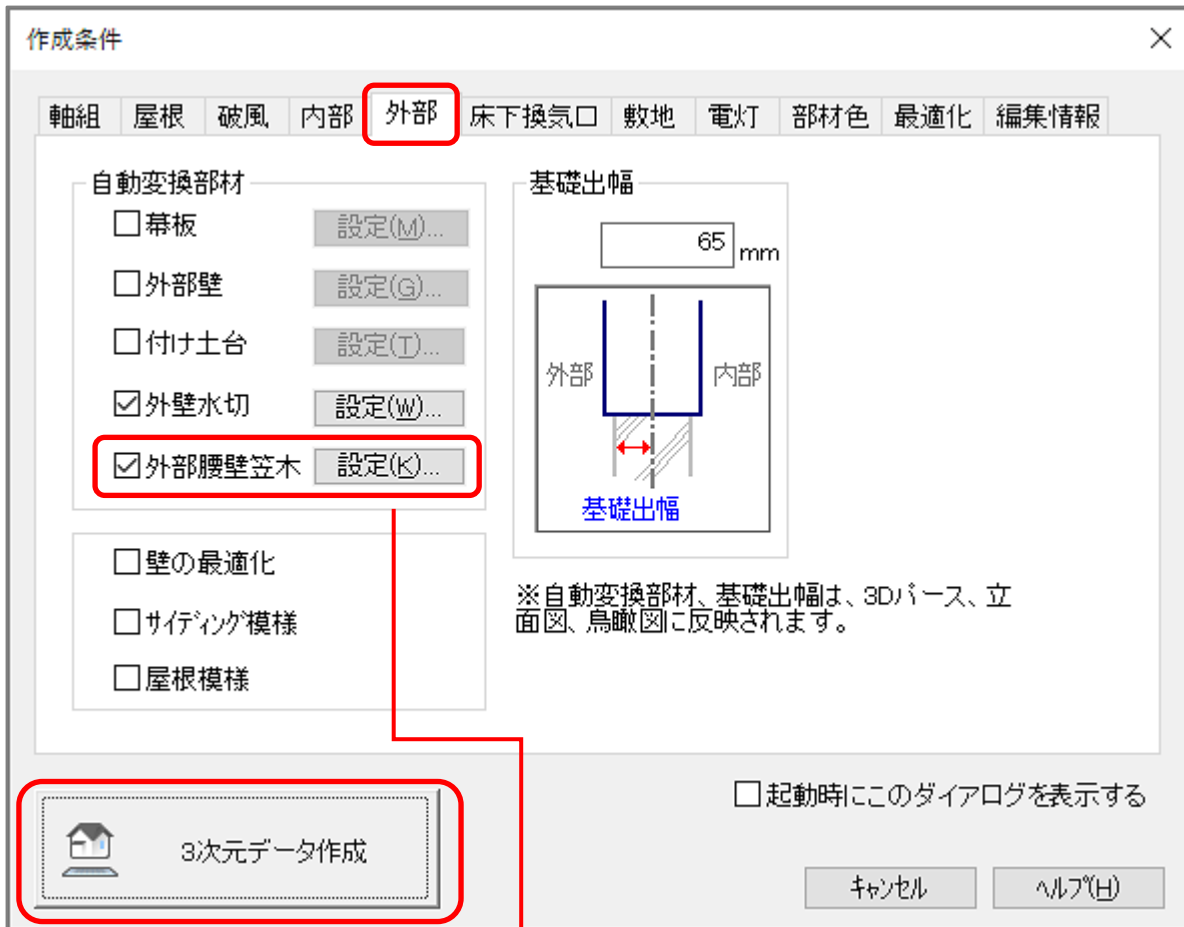
必ず先に外部腰壁を入力し、後からバルコニーを配置してください。

バルコニーに袖壁としてポーチ壁を配置する場合も同様です。

参考① 外部腰壁の笠木設定

外部腰壁の笠木は、3D パースの (作成条件) で設定できます。

(作成条件) の「外部」タブを開き、「外部腰壁笠木」にチェックを入れます。



笠木の高さは、「設定」の外部腰壁笠木の画面で設定できます。

* 作成条件の設定を変更した場合は、必ず「3次元データ作成」から再変換をしてください。

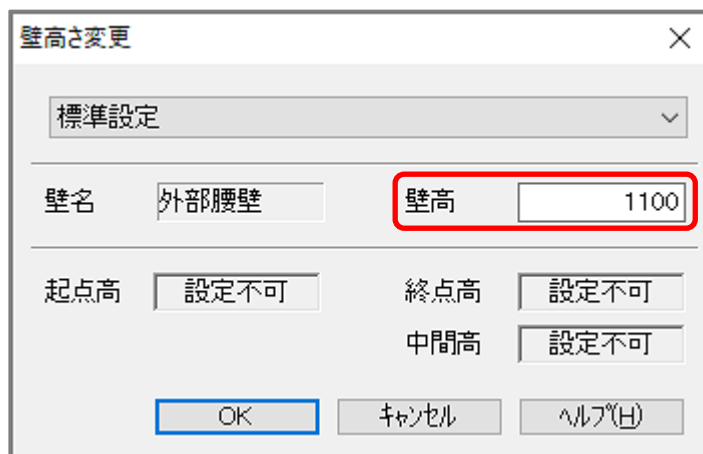
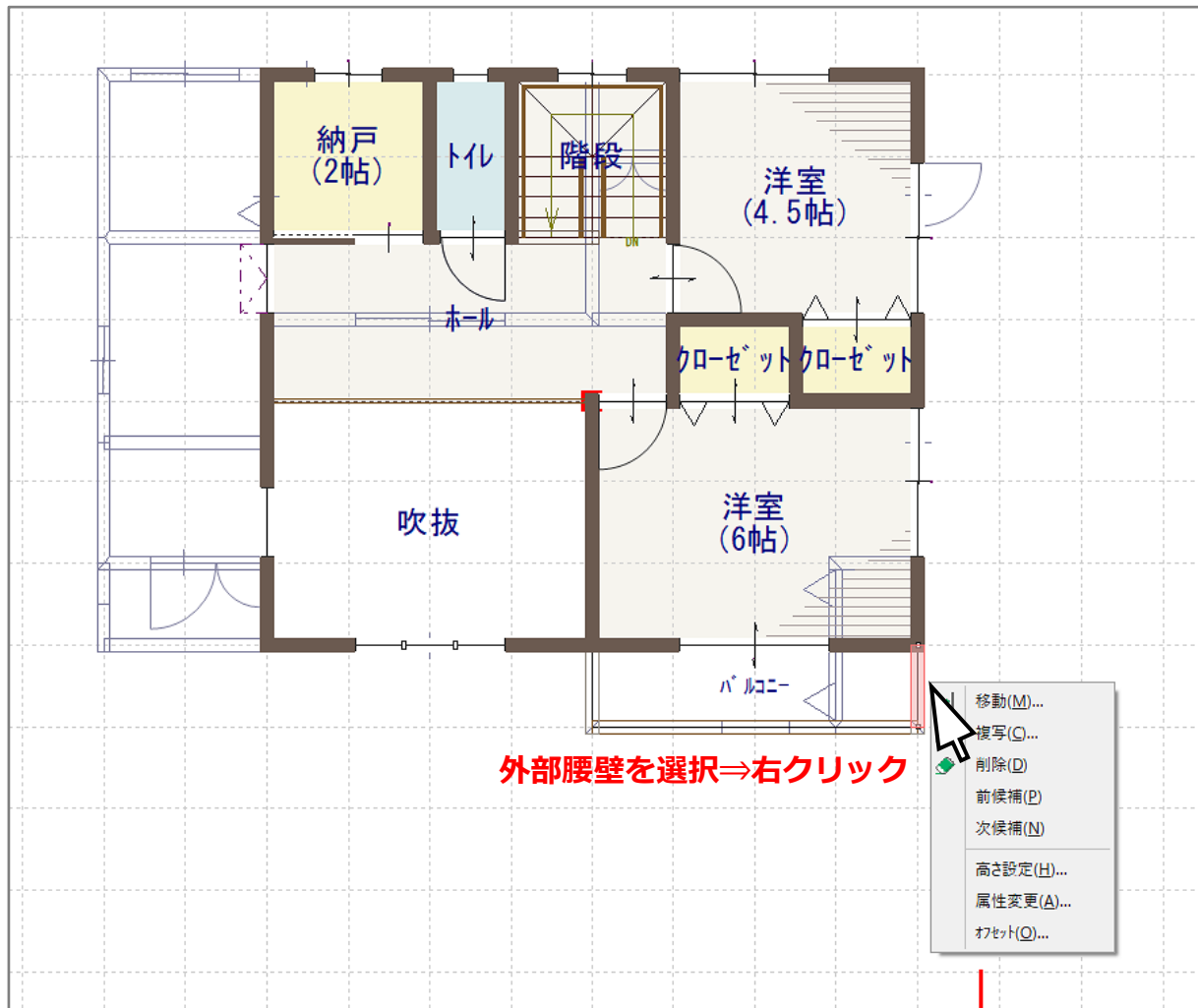
参考② 外部腰壁の高さ設定

● プラン図で変更

← (要素選択)の状態、高さを変更したい配置済みの外部腰壁を選択後、右クリックします。

右クリックメニューの「高さ設定」から壁高を変更します。

* 配置済みの外部腰壁をダブルクリックしてもかまいません。



● 3D パースで変更

選択モードが「同名パーツ」または「パーツ」の状態で、高さを変更したい外部腰壁を選択後、右クリックします。

右クリックメニューの「プロパティ」の「設定」から壁高を変更します。

- * プラン図の「壁高さ変更」と同じ画面が表示されますので、同様に高さを変更します。
- * 高さを変更したい外部腰壁をダブルクリックしてもかまいません。

